

ランドルコーポレーション営業所

万が一不具合等ございましたら、販売店またはお近くの
営業所・サテライトまでお問い合わせください。

本社工場	〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井 42-1 TEL.049-259-4433 FAX.049-259-3535
青森サテライト	〒030-0921 青森県青森市原別 8-9-1 TEL.017-736-9535 FAX.017-736-9534
岩手営業所	〒020-0846 岩手県盛岡市流通センター北 1-2-20 TEL.019-614-3007 FAX.019-639-0631
仙台営業所	〒984-0821 宮城県仙台市若林区中倉 3-17-54 TEL.022-782-5286 FAX.022-782-5287
埼玉北サテライト	〒347-0002 埼玉県加須市外野 432 TEL.0480-69-2171 FAX.0480-69-2172
所沢営業所	〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井 42-1 TEL.049-274-3132 FAX.049-274-3134
八王子サテライト	〒193-0824 東京都八王子市長房町 22-26 TEL.0426-68-9168 FAX.0426-68-9167
東京営業所	〒120-0005 東京都足立区綾瀬 1-20-18 TEL.03-5629-5080 FAX.03-5629-5081
千葉サテライト	〒262-0022 千葉県千葉市花見川区南花園 2-9-21 RT サンライト 101 号室 TEL.043-213-5775 FAX.043-273-5754
横浜サテライト	〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼 1-30-6 TEL.045-317-6052 FAX.045-317-6053
名古屋サテライト	〒485-0059 愛知県小牧市小木東 1-12 TEL.0568-43-0790 FAX.0568-43-0830
大阪営業所	〒578-0981 大阪府東大阪市島之内 2-14-27 TEL.072-960-3600 FAX.072-960-3700
神戸サテライト	〒652-0804 兵庫県神戸市兵庫区塚本通 4-1-2 TEL.078-579-6525 FAX.078-579-6526
岡山サテライト	〒700-0975 岡山県岡山市今 8-3-35 TEL.086-242-6055 FAX.086-242-6066



ランドルコーポレーション

株式会社ランドルコーポレーション本社

〒351-0034 埼玉県朝霞市西原 1-7-1

代 表 : TEL.048-475-3661 FAX.048-475-3709
営業部ダイヤルイン : TEL.048-475-3662 FAX.048-475-3712

ハイロー C S B ベッドシリーズ

取扱説明書

この度は、ランドルコーポレーションの製品をお
買いあげ、またはレンタル頂き、まことにありが
とうございます。

この「取扱説明書」には、ベッドを安全にご使用
いただくための注意事項が記載されています。ご
使用の前に必ずお読みになり正しくお使いくださ
い。

また分解・組み立て手順も記載されております。
ベッドを安全にご使用いただくため、手順をよく
ご理解頂き、指示に従い正しく作業を行ってくだ
さい。

この「取扱説明書」は、いつでもごらんいただけ
るように大切に保管してください。



ランドルコーポレーション

目次

1. 各部の名称.....

2. 安全に使用いただくために.....

3. 日常の使用方法和操作

4. 組み立て方法

5. 分解方法.....

6. 仕様について

7. 故障かな？と思ったら

3

4

5

8

14

19

19

■ 組み立てる前に

■ パッケージごとの内容物と付属品

1 脚座を取り付けます

2 幅だしフレームを取り付けます

3 モーターユニットを取り付けます

4 背・スライドボトムを取り付けます

5 膝・脚ボトムを取り付けます.....

6 腰ボトムを取り付けます

7 サイドフレームを取り付けます

8 ヘッド・フットボードを取り付けます

8

9

10

10

11

12

12

13

13

13

6. 仕様について

ベッド全長(mm)	マット幅91	2060
	マット幅91S	1860
ベッド全幅(mm)		
ベッド床高(mm)		300～600
ヘッド部高さ(mm)		576
フット部高さ(mm)		426
重量(kg)	マット幅91 (2M/3M)	83.9/85.2
	マット幅91S (2M/3M)	82.8/84.1
材質	ハイローユニット	スチール製:抗菌粉体塗装仕上げ
	モーターユニット	
	幅出しユニット	
	ボトムユニット	
	サイドフレーム	
ヘッドフットボード		化粧板
電圧(V)		100
電流(A)		1.5
モーター消費電力(W)		150(モーター1台あたり)

7. 故障かな？と思ったら

■ 修理を依頼する前に以下の項目をチェックしてください。それでも改善されないときは、ベッドの使用をやめて販売店に修理を依頼してください。

チェック 1

電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？

対応： 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

チェック 2

手元スイッチのコネクタがコントロールボックスから外れていませんか？

対応： 手元スイッチのコネクタをコントロールボックスに差し込んでください。

チェック 3

アクチュエータ（モーター）のケーブルがコントロールボックスから外れていませんか？

対応： アクチュエータ（モーター）のケーブルをコントロールボックスに差し込んでください。

チェック 4

手元スイッチのランプが点滅していませんか？

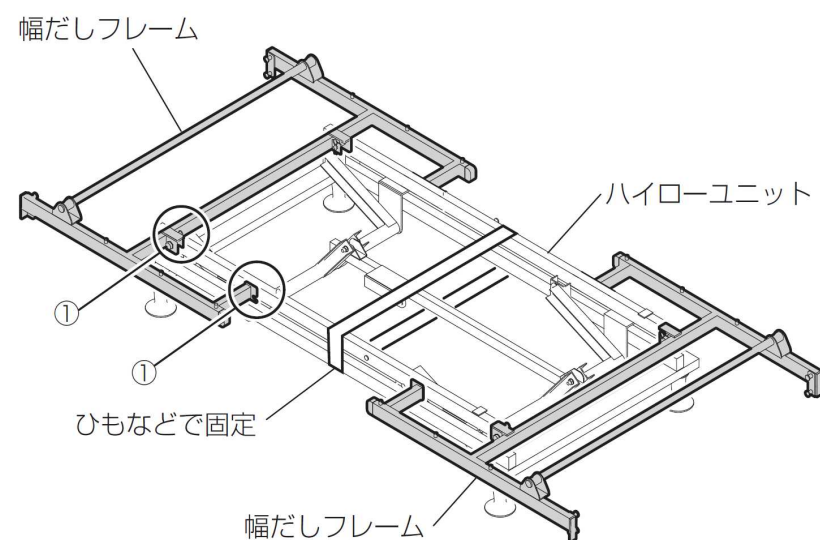
対応： 連続使用でアクチュエータやコントロールボックスが熱くなると過熱防止回路がはたらき、アクチュエータが停止します。

ランプが点灯の状態になるまで 20 分程お待ちください。

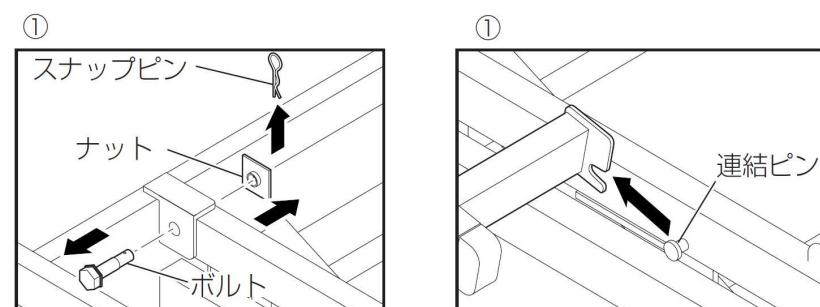
2

19

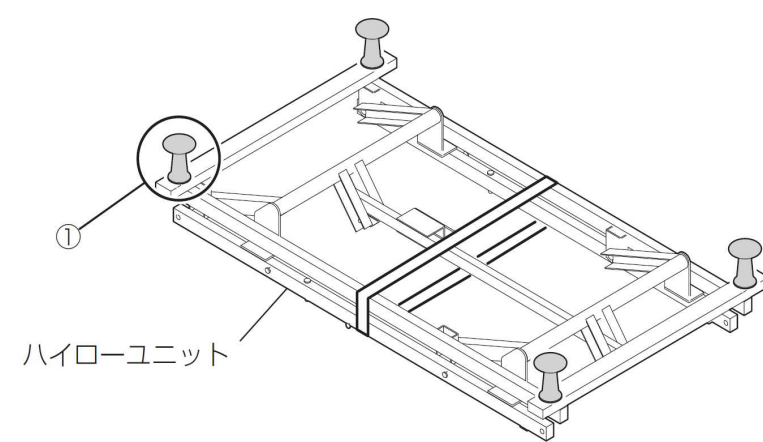
7 幅だしフレームを取り外します



- ① 幅だしフレームとハイローユニットを連結している、左右の連結ボルトのスナップピンを抜き、ナットを抜きます。連結ピンを取り外し、幅だしフレームを上引き上げ取り外します。
- ② 逆側の幅だしフレームも同様の方法で取り外します。
- ③ ハイローユニットをひもなどで固定します。

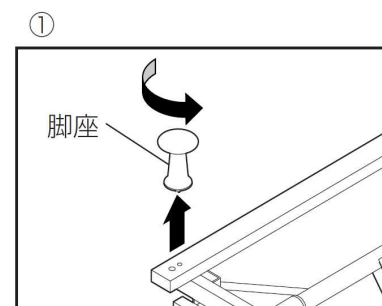


8 脚座を取り外します



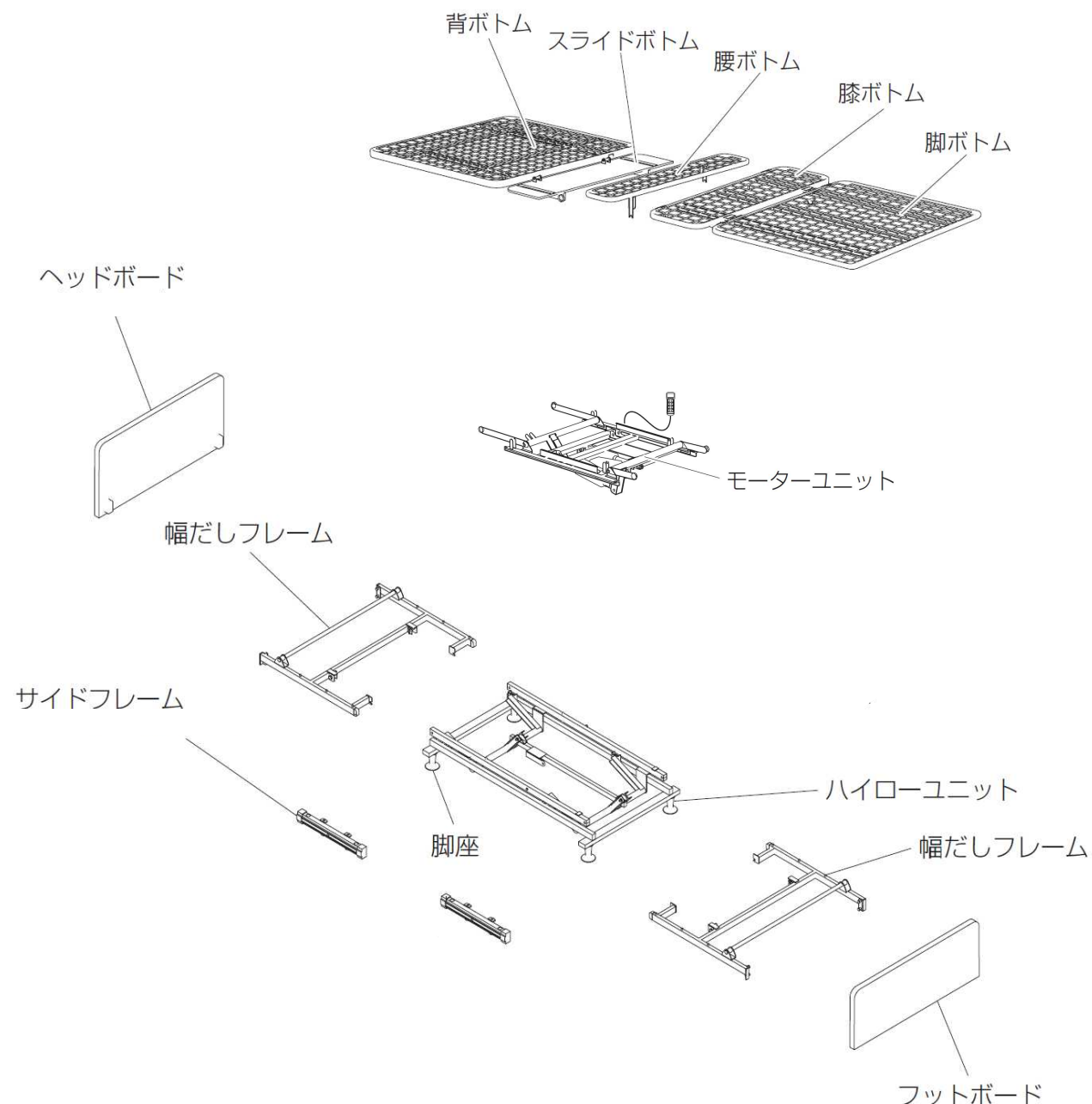
- ① ハイローユニットを裏返し、4つある脚座を取り外します。

以上で分解作業は終了です。



1. 各部の名称

ハイロー CSB ベッド シリーズ



2. 安全に使用いただくために

この取扱説明書では、ベッドを安全に正しくお使いいただくために、守らなければならない内容や、注意する必要がある内容について、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取り扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して取り扱いを誤ると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

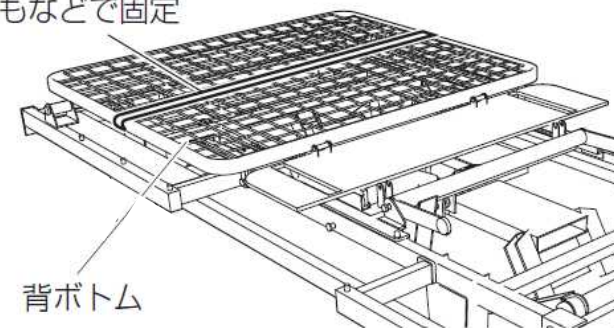
- ベッドの近くにストーブ等の熱器具を置かないでください。火災や変質、変形の原因になります。
- ベッドの上での喫煙はお止めください。火災の原因になります。
- ベッドの上で飛び跳ねたり、不用意に立上ったりしないでください。転倒し、けがをしたりベッドが破損する可能性があります。
- ベッドの設置場所の上部に不安定な物を置かないでください。地震等の際に落下してけがをする可能性があります。
- 運転中はベッドの可動部に近寄ったり、触ったりしないでください。挟まれたり巻き込まれたりしてけがをする可能性があります。
- この取扱説明書に記載されている分解手順以外の製品の分解や改造は、絶対にしないでください。故障や人身事故を招く恐れがあります。
- ベッドの下に潜り込んだり、頭・手・脚等を入れないでください。可動部分に挟まれてけがをする恐れがあります。
- ベッドの上に二人以上乗って使用しないでください。ベッドが破損する可能性があります。
- 12才以下の子供や自分で適切に操作できない方には、一人で操作させないようにしてください。故障や人身事故を招く恐れがあります。
- サイドフレームを設置した後、ノブがしっかりと締めてあるか確認してからベッドを使用してください。ノブがゆるんでいるとサイドフレームが外れてけがをする場合があります。
- サイドレールを取り付けて使用する際は、サイドレールの隙間に頭・手・脚等が入り込まないように十分注意してください。特にベッド上で予測不可の行動を取る方、御自分で体を自由に動かす事が出来ない方は、細心の注意を払って使用してください。生命に関わる事故を起こす可能性があります。
- サイドレールを取り付けて使用する際は、サイドレールの隙間から頭・手・脚等を出したままベッドを操作しないでください。
- ベッドの高さを変える際は介護者の脚がベッドの下に入り込んでいないか確認してから行ってください。

注意

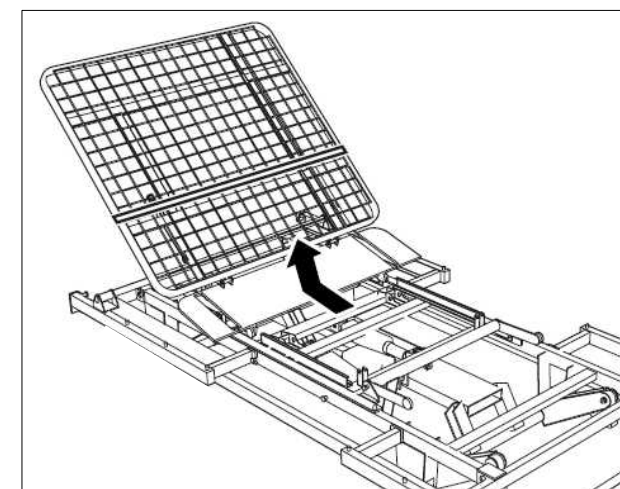
- ベッドの周辺には危険物を置かないでください。ベッドから落下した時、けがをする可能性があります。
- ベッドの移動は必ず二人以上で行ってください。引きずると、床に傷が付いたりベッドを破損する可能性があります。
- ベッドの下に物を置かないでください。ベッド操作時に部品が干渉し故障の原因になります。
- 平らな場所に設置してください。ガタツキや異常音など故障の原因になります。
- 故障や異常に気が付いたら即座に使用を中止してください。そのまま使用すると故障の原因になります。
- 電源コードはベッドで踏んだり他の物で挟んだりしないでください。
- 電源は直接コンセントからとってください。
- ベッドでマッサージを行うときは、ベッド床を最低位置まで下げてください。

- ⑦ 背スライドリンクステーを背ボトムにひも等で固定し、動かないようにします。
- ⑧ レールからスライドボトムのローラーを引き出すように、背ボトム・スライドボトムを頭側に移動させ、ローラーがレールから外れたら上に持ち上げ取り外します。

背スライドリンクステーをひもなどで固定



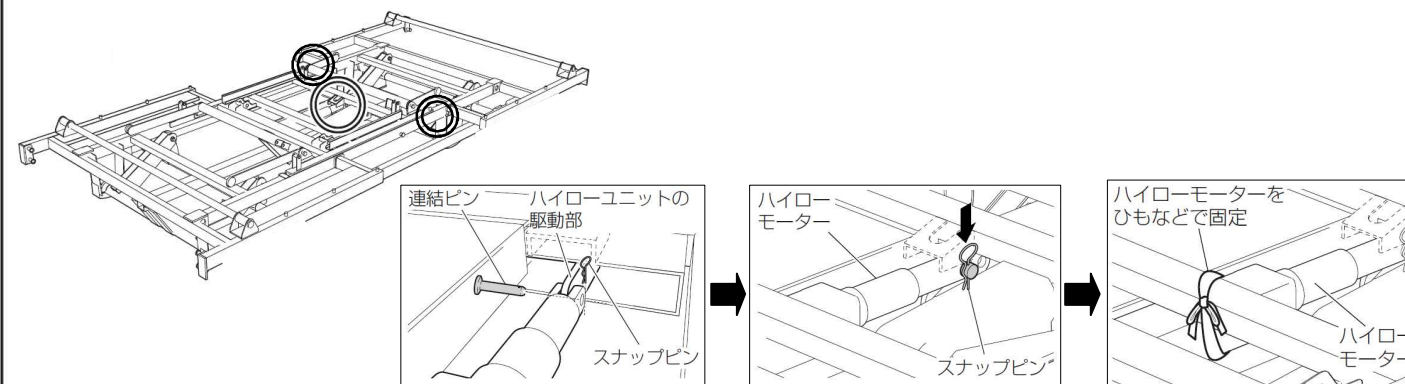
背ボトム



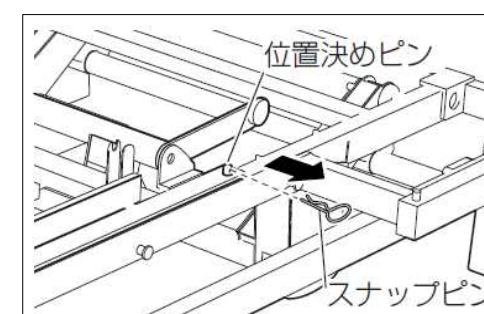
- ⑨ 電源プラグをコンセントに差し込み、背ボトムを最低位置まで手元スイッチで下げます。
- ⑩ 電源プラグをコンセントから抜きます。

6 モーターユニットを取り外します

- ① 駆動部と連結しているハイローモーター先端の連結ピンのスナップピンを抜き取り、連結ピンを引き抜きます。この連結ピンをハイローモーター先端に差し込み、スナップピンで固定します。ハイローモーターをひもなどでモーターユニットのフレームに固定します。

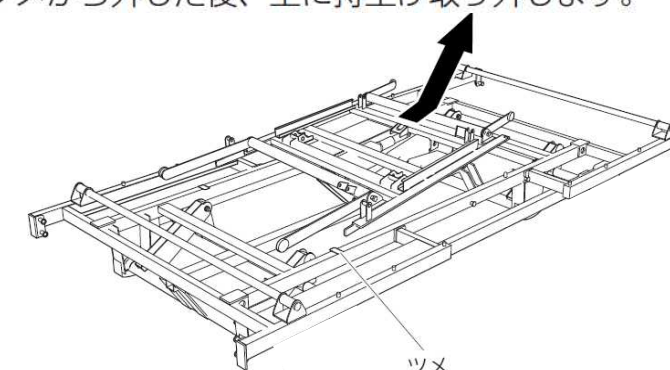


- ② 電源ケーブル・手元スイッチをモーターユニットの下から上に通し、ひも等で束ねます。
- ③ モーターユニットを固定している2カ所のスナップピンを抜き取ります。
- ④ モーターユニットの脚側を5センチほど引き上げた状態で、モーターユニット全体を脚側へスライドさせ、ハイローユニットのツメから外した後、上に持ち上げ取り外します。



位置決めピン

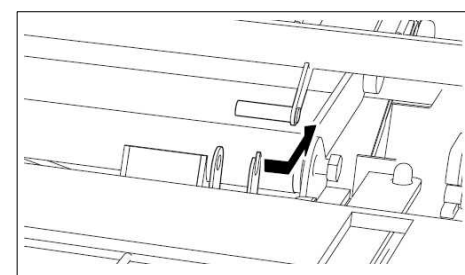
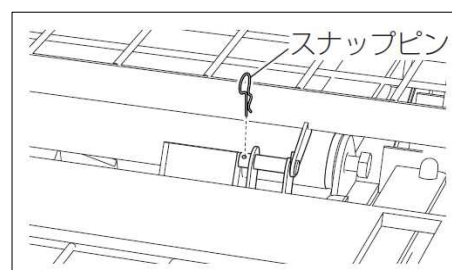
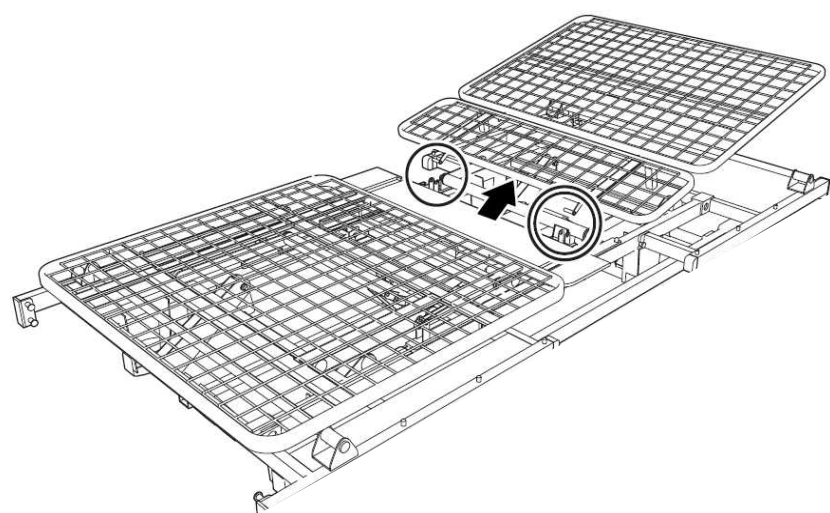
スナップピン



ツメ

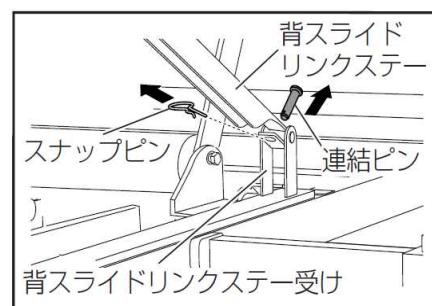
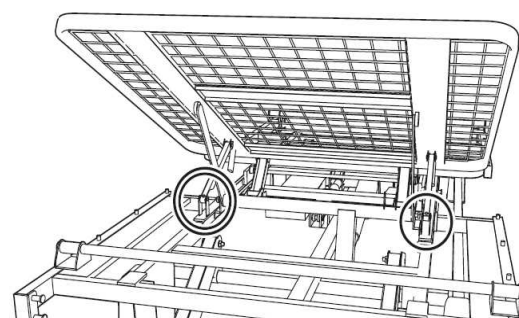
4 膝・脚ボトムを取り外します

- ① 左右の連結部のスナップピンを抜き取ります。
- ② 3センチほど横にスライドさせた後、持ち上げて取り外します。



5 背・スライドボトムを取り外します

- ① 電源プラグをコンセントに差し込み、背ボトムを約30度の角度に手元スイッチで起こします。
- ② 電源プラグをコンセントから抜きます。
- ③ 左右の連結部の連結ピンを固定しているスナップピンを抜き取り、連結ピンを引き抜きます。



- ④ 電源プラグをコンセントに差し込み、背ボトムを約10度まで手元スイッチで下げます。
- ⑤ 電源プラグをコンセントから抜きます。
- ⑥ 背ボトムを手前に20センチほど引いた状態で、背スライドリンクステーを背スライドリンクステー受けから外し、背ボトムをもとの位置に戻します。

3. 日常の使用方法和操作

■ 手元スイッチの操作方法

⚠ 警告

12歳以下のお子様や自分でベッドを適切に操作できない方には、一人でベッドを操作させないでください。

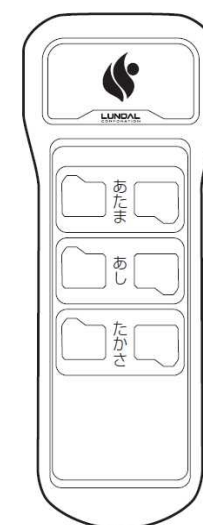
⚠ 注意

手元スイッチのケーブルがベッドの駆動部に絡まないように注意してください。ケーブルが引っ張られたままベッドを使用すると、断線や故障の原因となります。

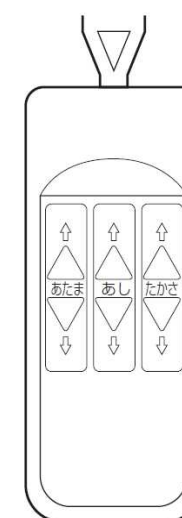
本ベッドでは2種類の手元スイッチを採用しております。
各手元スイッチの操作方法については同梱の手元スイッチの形状を確認していただき、TYPE-Aの場合は6ページを、TYPE-Bの場合は7ページをご覧ください。

(下図は3モーター仕様の手元スイッチを示しています。)

TYPE-A



TYPE-B



- 手元スイッチを操作してもベッドが動かない場合は、繰り返し手元スイッチを操作せず、19ページの「7. 故障かな?と思ったら」を参照してください。

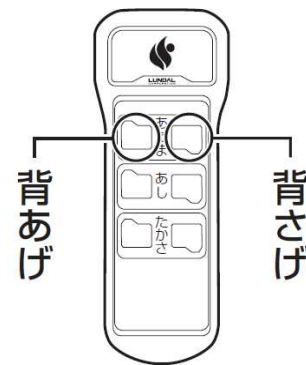
● 手元スイッチ：TYPE-A

背あげ 3モーター仕様



背ボトムの角度を調整します。
(水平から最大75度)

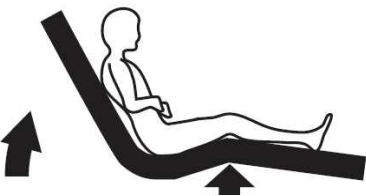
手元スイッチ操作ボタン



ベッドから起き上がる時に
使用します。

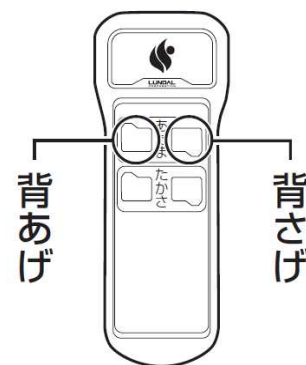
ベッドで食事や読書をする
ときに使用します。

背あげ膝連動 2モーター仕様



背ボトムに連動して膝ボトムがあ
がります。

手元スイッチ操作ボタン



背ボトムは水平から最大75
度、膝ボトムは最大20度ま
であがります。

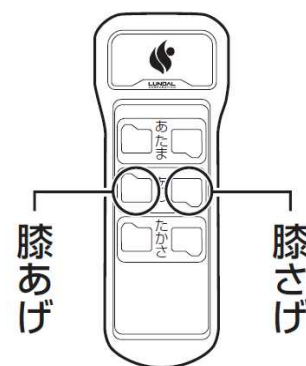
切替レバーで背あげのみと、
連動の切替ができます。

膝あげ 3モーター仕様



膝ボトムの角度を調整します。
最大40度まであがります。

手元スイッチ操作ボタン



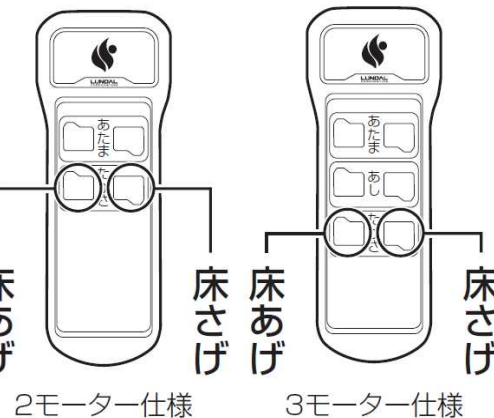
背あげを行う場合、先に膝ボ
トムをあげておくと体全体
がかかと側にずれることを
防ぎます。

床あげ 2,3モーター仕様



ベッドの高さを調整します。
(床からボトムまでの高さを
30から60cmの間で調整
します。)

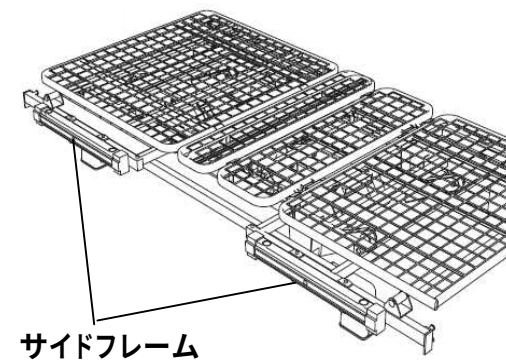
手元スイッチ操作ボタン



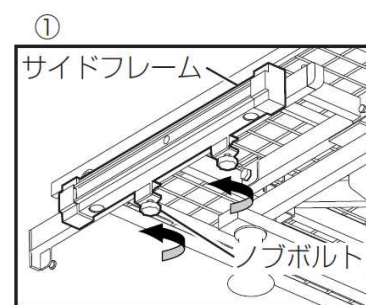
ベッドから立ちあがるとき
や、車いすに乗り移るときに
高さを調節することができます。

介護しやすい高さに調節す
ることができます。

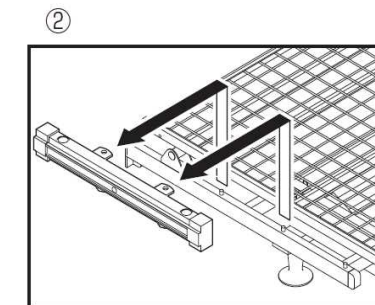
② サイドフレームを取り外します



サイドフレーム



① サイドフレーム

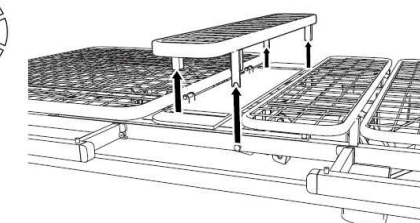


②

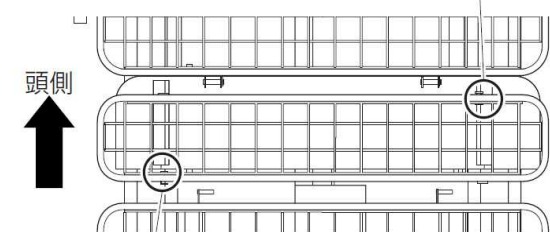
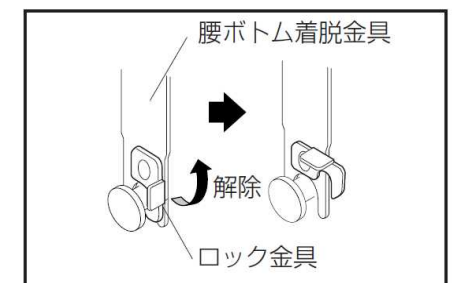
- ① サイドフレームの2カ所のノブボルトを
緩めます。
- ② 幅だしフレームから取り外します。同じよ
うに残り1つのサイドフレームを取り外
します。

③ 腰ボトムを取り外します

- ① 腰ボトムにある2カ所の着脱金具のロック金具を解除し、腰ボトムを上方向に取り外しま
す。



腰ボトム着脱金具
(ハイローユニットの連結ピンと連結)



腰ボトム着脱金具
(ハイローユニットの連結ピンと連結)

5. 分解方法

ベッドを分解する前に以下の作業を行ってください。



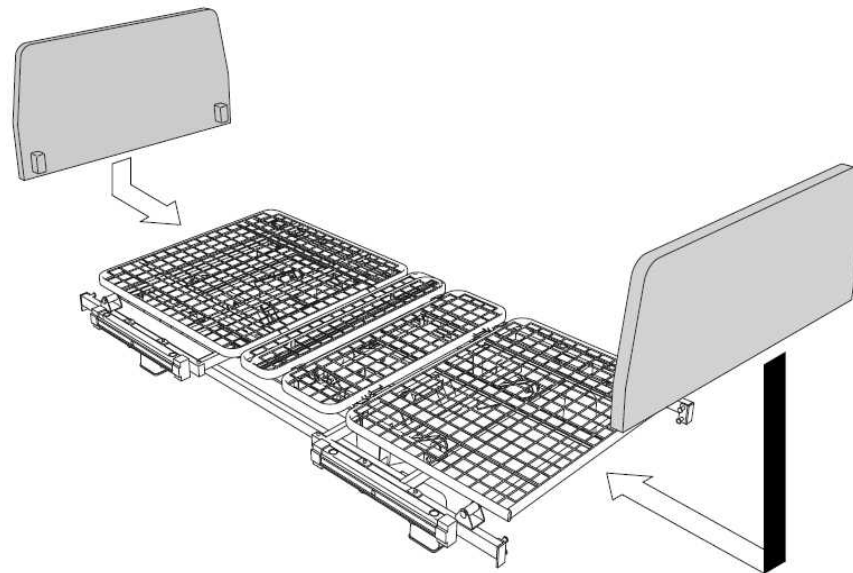
- ベッドに装着しているオプションパーツなどがありましたら取り外します。
- 寝具、マットレスをベッドから降ろします。
- ベッド床高さを最低位置まで下げます。
- 電源プラグをコンセントから抜きます。

⚠ 注意

ベッドを分解するときは、誤動作による事故を防止するため、電源プラグをコンセントからはずして作業を行います。
ベッドを分解するときは、各部品の駆動部に指などを挟まないように注意してください。

- 分解は必ず大人2名以上で行ってください。
- 取り外したスナップピン、連結ピンは紛失しないように袋などに入れ保管してください。

① ヘッドボード・フットボードを取り外します

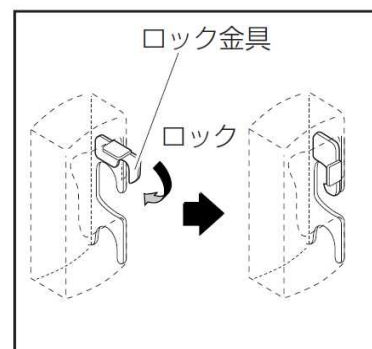
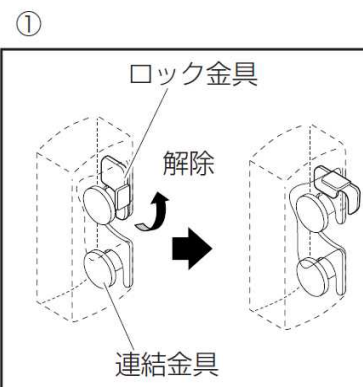


- ① フットボードを取り外します。フットボードの2カ所の連結金具のロック金具を解除して、フットボードを斜め上方向に引き上げながら取り外します。



取り外したフットボードの連結金具の2カ所のロック金具は、搬送中の破損を防止するため、必ずロック位置に戻して梱包してください。

- ② ヘッドボードの取り外しはフットボードと同様です。フットボードの取り外し方法を参考にしてヘッドボードを取り外してください。



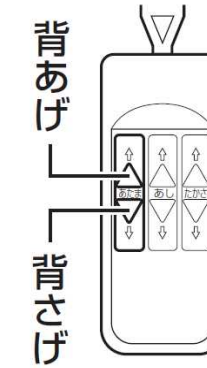
● 手元スイッチ：TYPE-B

背あげ 3モーター仕様



背ボトムの角度を調整します。
(水平から最大75度)

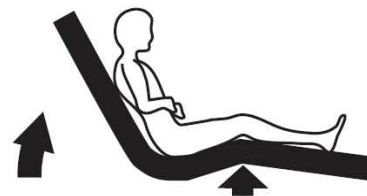
手元スイッチ操作ボタン



ベッドから起き上がる時に使用します。

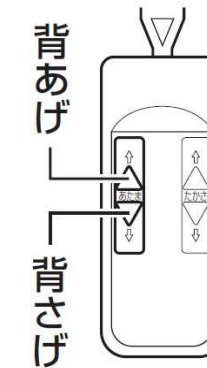
ベッドで食事や読書をするときに使用します。

背あげ膝連動 2モーター仕様



背ボトムに連動して膝ボトムがあります。

手元スイッチ操作ボタン



背ボトムは水平から最大75度、膝ボトムは最大20度まであがります。

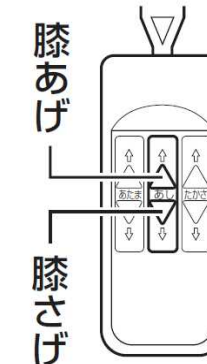
切替レバーで背あげのみと、連動の切替ができます。

膝あげ 3モーター仕様



膝ボトムの角度を調整します。
最大40度まであがります。

手元スイッチ操作ボタン



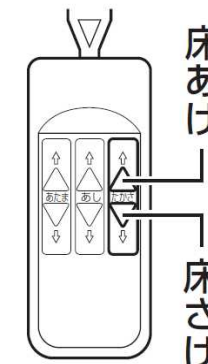
背あげを行う場合、先に膝ボトムをあげておくと体全体がかかと側にずれることを防ぎます。

床あげ 2,3モーター仕様



ベッドの高さを調整します。
(床からボトムまでの高さを30から60cmの間で調整します。)

手元スイッチ操作ボタン



ベッドから立ちあがるときや、車いすに移るときに高さを調節することができます。

介護しやすい高さに調節することができます。

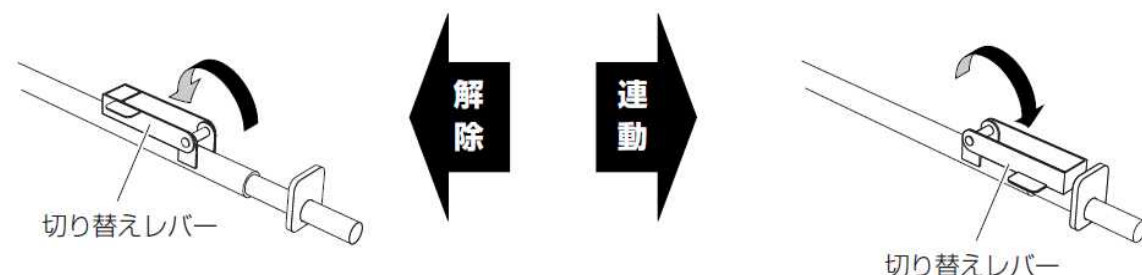
■ 背・膝ボトム連動切り替えについて

ハイロー2モーターベッド仕様では、膝ボトムは背ボトムと連動してあげ・さげすることができます。また、切り替えレバーで背ボトムのみのあげ・さげに切り替えることができます。切り替えレバーは膝・脚ボトムの下にあります。

① 膝・脚ボトムを起こすと下図の切り替えレバーがあります。

切り替えレバーが頭側に倒れているときは背・膝連動は解除されています。

切り替えレバーが脚側に倒れているときは背・膝が連動します。



ポイント レバーを切り替える際は必ず背ボトムが完全に降りていることを確認してください。

4. 組み立て方法

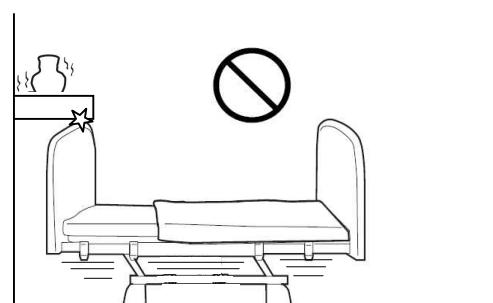
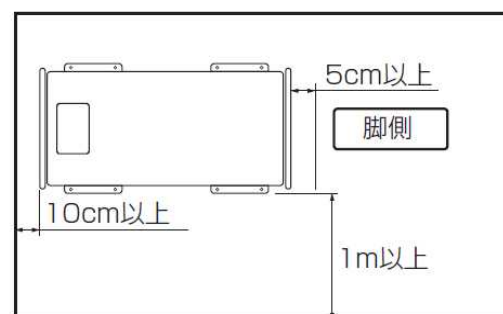
■ 組み立てる前に

組み立ては以下の注意事項をよくお読みの上、行ってください。

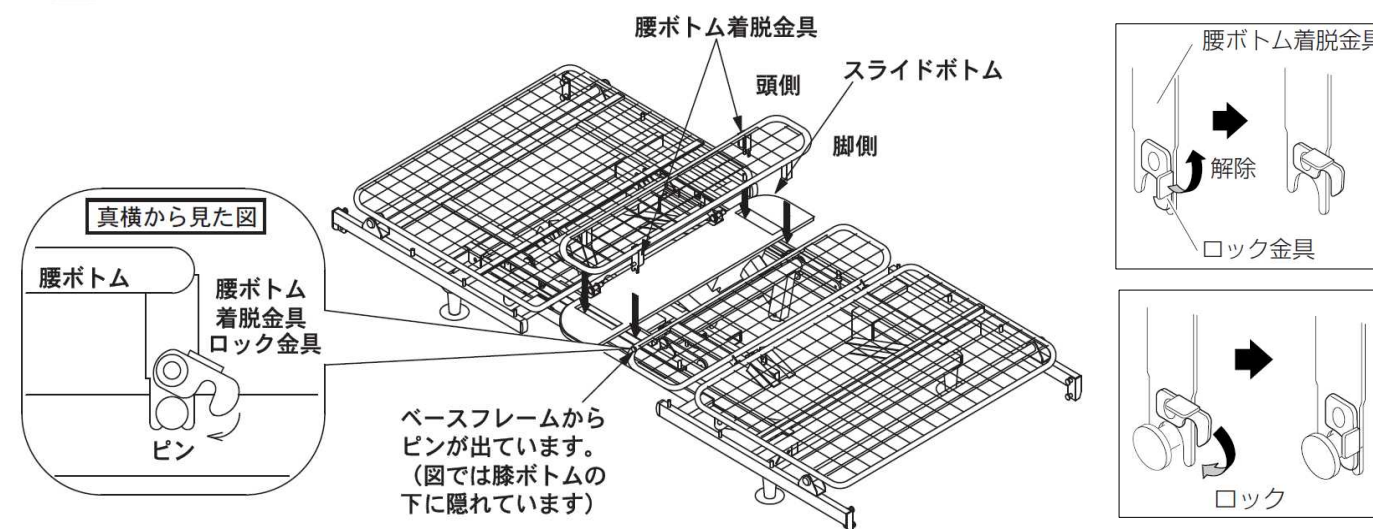
⚠ 注意

ベッドを組み立てるときは、誤動作による事故を防止するため、電源プラグをコンセントからはずして作業を行います。ベッドを組み立てるときは、各部品の駆動部に指などを挟まないように注意してください。

- 組み立ては必ず大人2名以上で行ってください。
- ベッドは一度組み立てると移動させることが困難です。ベッドを利用される方が車いすに乗り降りする場合、ベッドの横に車いすを横付けできるスペースを確保してください。また、介護の方がベッドの周りで介護するためのスペースなども十分に確保してベッドを設置してください。
- ベッドは電動操作で動きます。背・膝上げ操作、特に高さ方向においては、ベッドが動くにつれ高さ寸法が増していくので、ベッド周辺の家具および構造物の一部に当たらないようにしてください。



6 腰ボトムを取り付けます

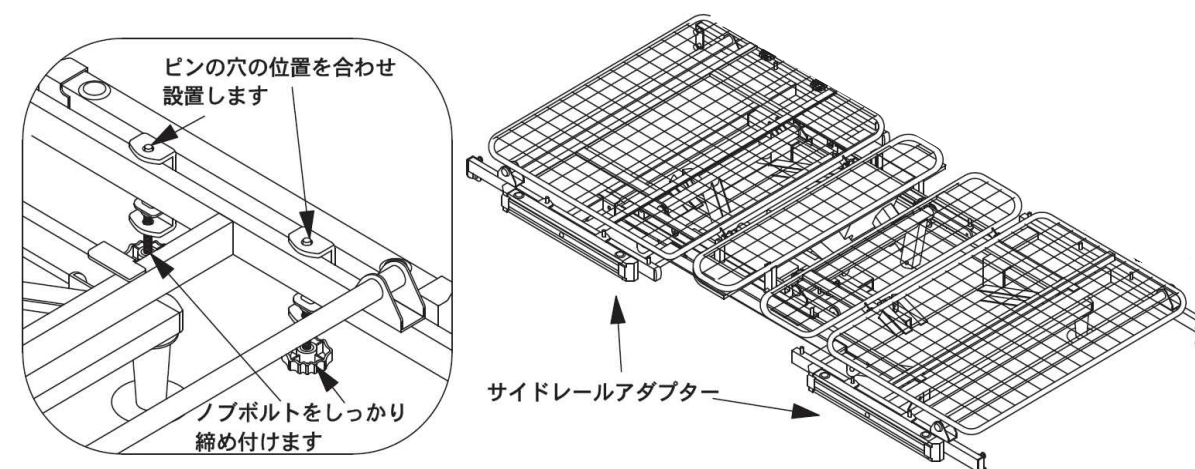


7 サイドフレームを取り付けます

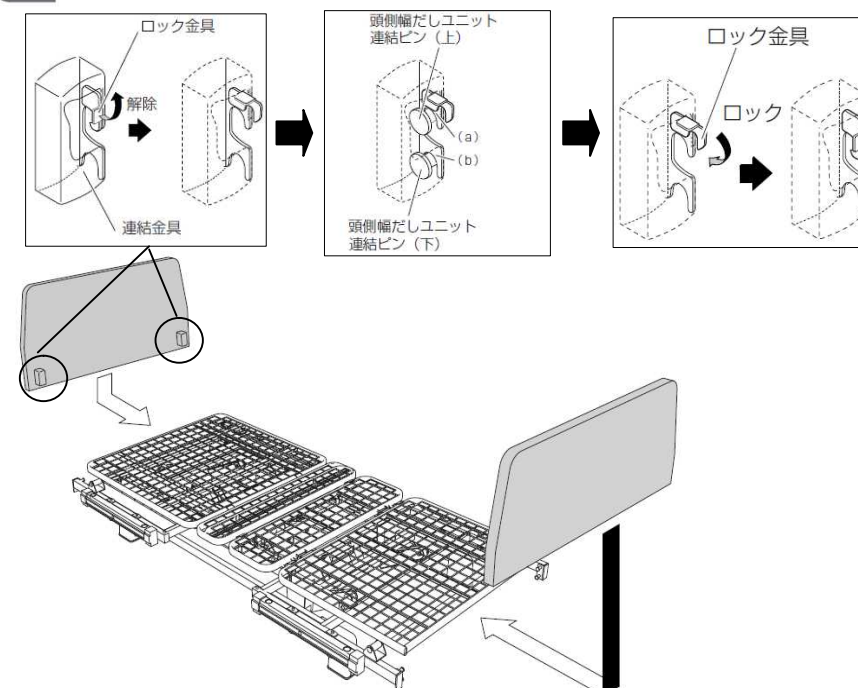
サイドフレームを幅だしフレームから出ているピンに合わせて設置し、ノブボルトをしっかり締め付けます。

⚠ 警告

ウッドフレームを設置した後、ノブが強く締めてあるか確認してからベッドを使用してください。ノブがゆるんでいるとウッドフレームが外れてけがをする場合があります。



8 ヘッド・フットボードを取り付けます



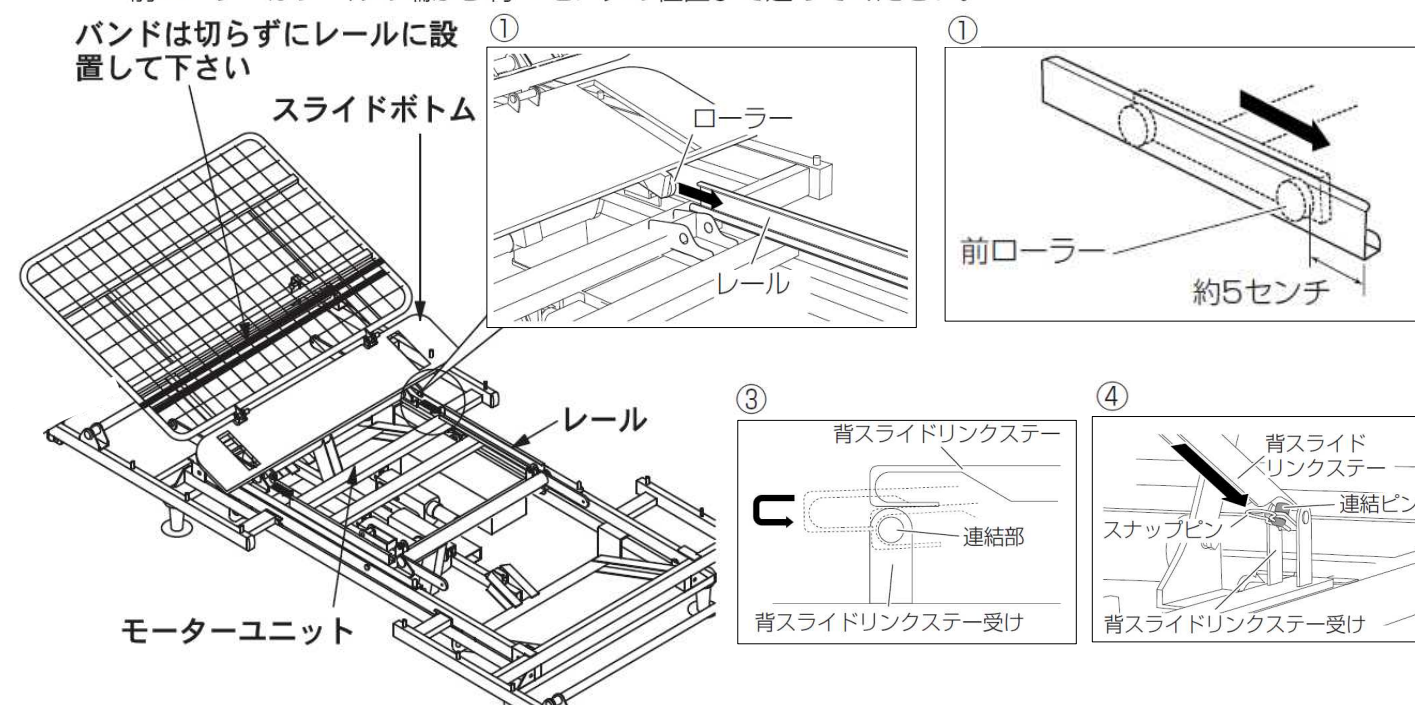
ポイント ヘッドボードとフットボードでは大きさが異なります。大きい方がヘッドボード、小さい方がフットボードとなります。

- ① ヘッドボードの連結金具2カ所のロック金具を解除します。
- ② ボトムA側の幅だしフレームの連結金具2カ所にヘッドボードの連結金具をはめ込みます。幅だしフレームの連結ピンは、上下に設置されています。連結ピンの上には(a)を、連結ピンの下には(b)を差し込んでください。
- ③ ヘッドボードの連結金具2カ所のロック金具をロックします。
- ④ フットボードの取り付けはヘッドボードと同様です。ヘッドボードの取り付け方法を参考にしてフットボードを取り付けてください。

4 背・スライドボトムを取り付けます

- ① スライドボトムのローラーをモーターユニットの2カ所のレールに頭側からはめ込みます。
前ローラーはレールの端から約5センチの位置まで進めてください。

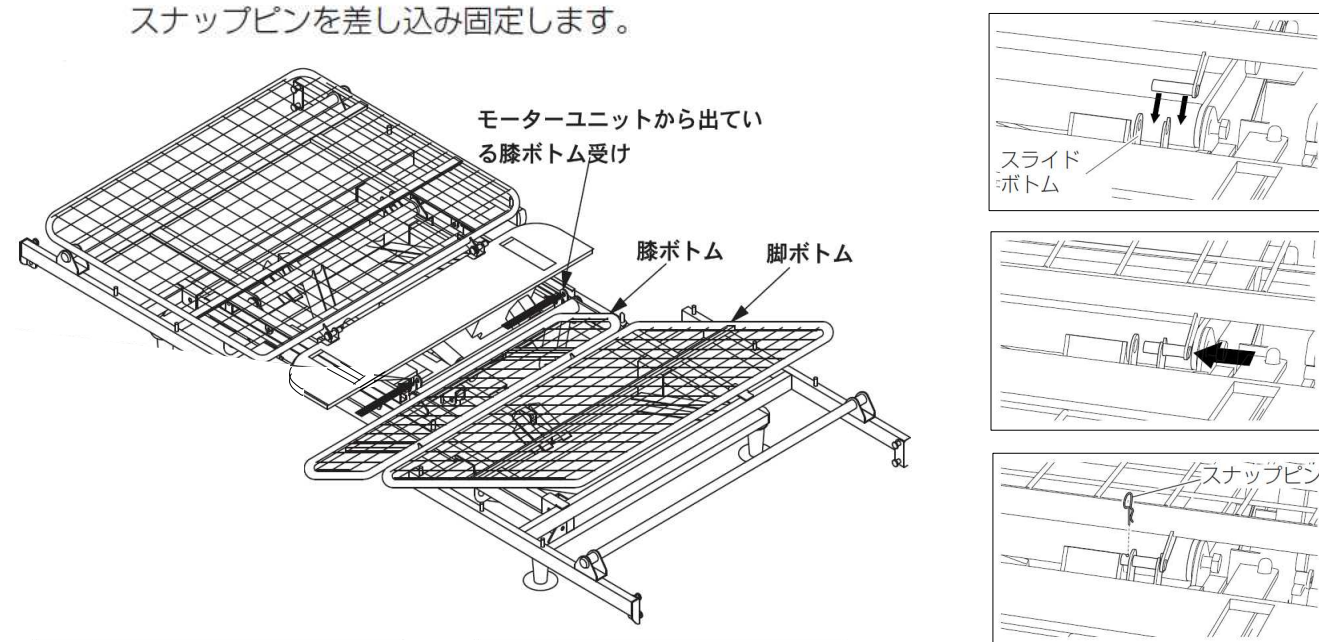
バンドは切らずにレールに設置して下さい



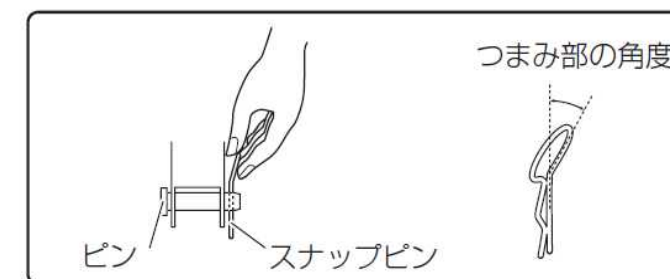
- ② 背スライドリンクステーの固定バンドをはずします。
- ③ 背ボトムをベッドの頭側に10センチ移動させもとの位置に戻すと、背スライドリンクステーが背スライドリンクステー受けの連結部にはまります。この状態で背ボトムをもとの位置に戻します。
- ④ 背スライドリンクステーが背スライドリンクステー受けに連結していることを確認し、連結部2カ所に連結ピンを差し込み、図のようにスナップピンが背スライドリンクステーと平行になるように取り付けます。

5 膝・脚ボトムを取り付けます

- ① スライドボトムの左右の連結金具の切り欠きを利用して、膝・脚ボトムの連結金具を差し込み、膝・脚ボトムをスライドさせます。スライドさせた後、膝・脚ボトムの連結金具にスナップピンを差し込み固定します。

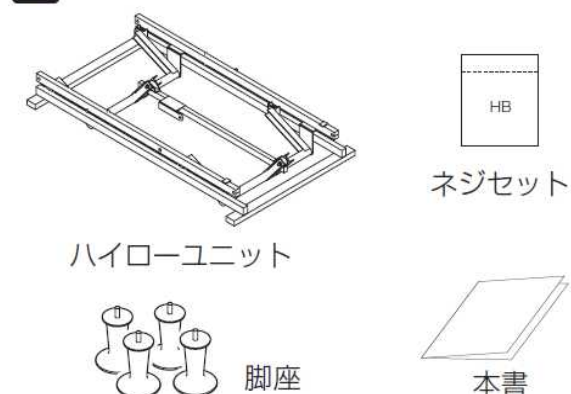


- スナップピンには着脱しやすいように、つまみ部に角度が設けてあります。取り付け時にはこの部分が外側へ向くようにしてください。

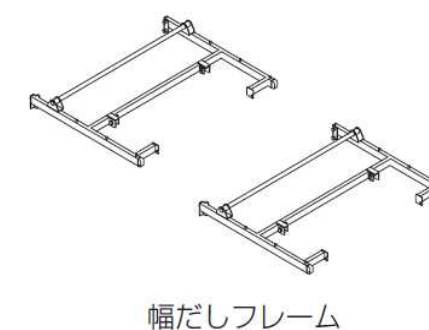


■ パッケージごとの内容物と付属品

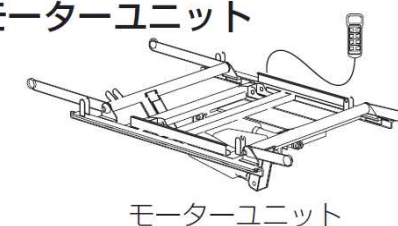
1 ハイローユニット



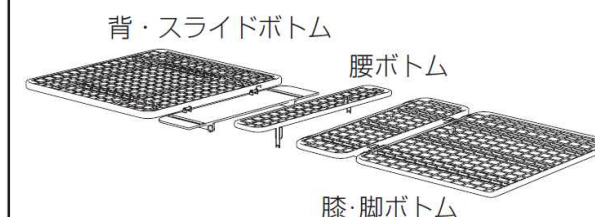
2 幅だしフレーム



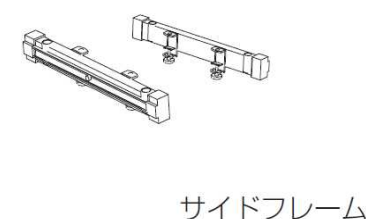
3 モーターユニット



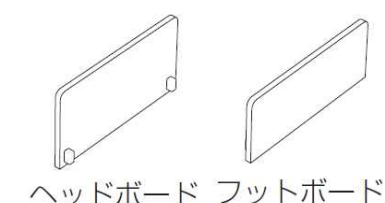
4 ボトムユニット



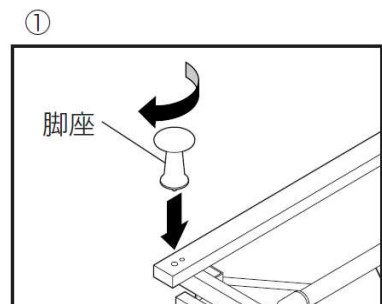
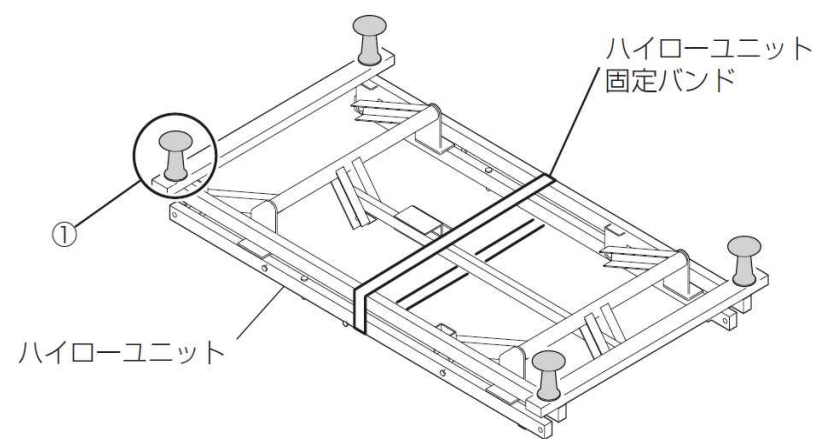
5 サイドフレーム



6 ヘッド・フットボード



1 脚座を取り付けます



ハイローユニットは天地さかさまの状態に梱包されております。その状態のまま箱から取り出し、組み立てを行ってください。



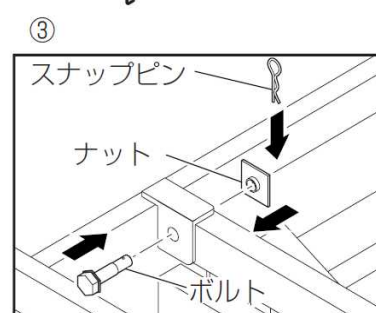
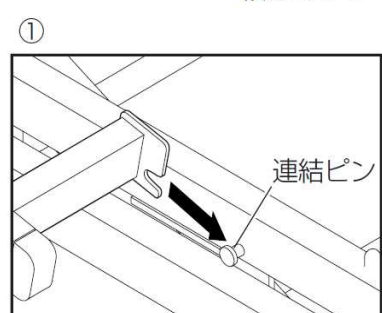
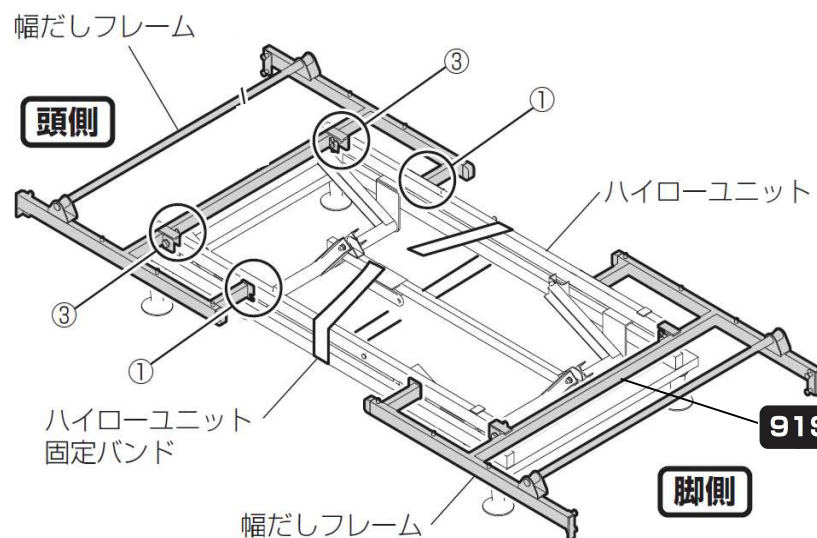
ハイローユニット固定バンドは指示があるまで取り外さないでください。

- ① ハイローユニットがさかさまの状態に脚座を4ヶ所に取り付けます。
- ② 脚座を取り付けたらハイローユニットを裏返します。
- ③ ベッドを使用する位置にハイローユニットを設置します。

警告

ベッドは組み立てが完了するとおおよそ83～85 kgとなります。ベッドを設置する床の耐荷重に注意してください。

2 幅だしフレームを取り付けます



幅だしフレームは頭側、脚側で同じものを使用します。

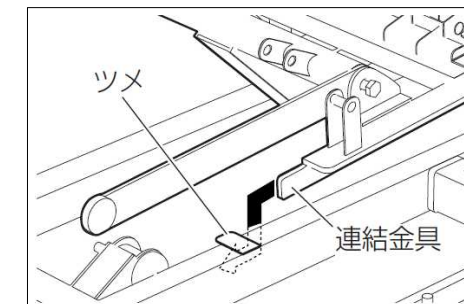
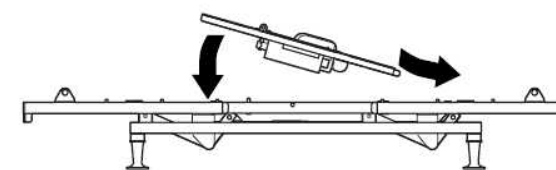


ショートサイズをお買い上げまたはレンタルのお客様は91Sとシールが貼られている幅だしフレームを脚側へ取り付けてください。

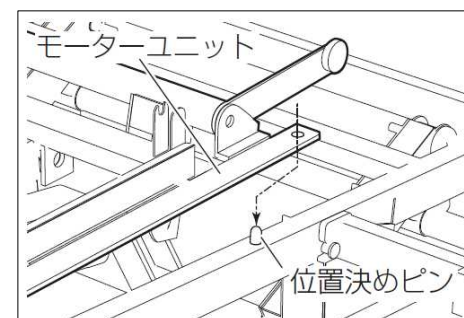
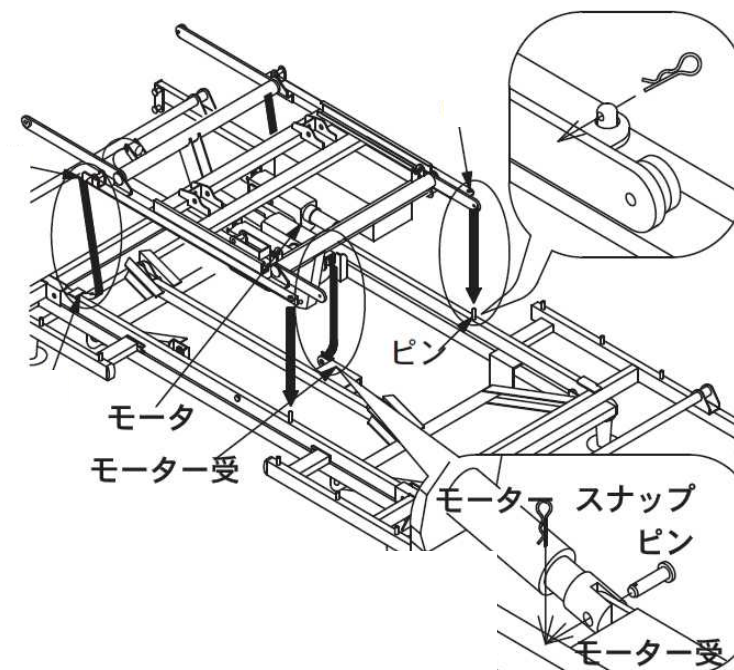
- ① ハイローユニットの2カ所の連結ピンに幅だしフレームの連結金具をはめ込みます。
- ② その状態のまま幅だしフレームをハイローユニットに静かに倒します。
- ③ 幅だしフレームとハイローユニットの連結部2カ所にナットを差し込んだ後、ボルトを付属品のスパナで締め付け、スナップピンで固定します。
- ④ 同様の方法で逆側の幅だしフレームを取り付けます。
- ⑤ ハイローユニットを固定しているバンドを外します。

3 モーターユニットを取り付けます

- ① モーターユニットの連結金具をハイローユニットのツメの内側にはめ込み、ハイローユニットの2カ所の位置決めピンにモーターユニットのフレームの穴があうように静かに降ろします。



- ② 2カ所の位置決めピンにスナップピンを差し込み固定します。



- ③ ハイローモーターを固定しているひもを外します。ハイローモーター先端の連結ピンのスナップピンを抜き取り、連結ピンを引き抜きます。この連結ピンでハイローモーターとハイローユニットの駆動部を連結しスナップピンで固定します。
- ④ 電源ケーブル・手元スイッチが固定されているひもを解き、モーターユニットの下に通し、モーターユニットとハイローユニットの間に通します。

